

5月 6-12日

詩編 36-37 編

87 番の歌と祈り | 開会の言葉 (1分) 漢田 蒼 | 長谷川貴史

神の言葉の宝

1. 「悪を行う人のせいで腹を立ててはならない」 (10分) 伊藤 勇一

悪い人たちのせいでつらい経験をすることがある。 (詩 36:1-4。塔研 17.04 10 ページ 4節)

「悪を行う人」に対して怒りの気持ちを持ち続けるなら、自分を傷つけることになる。 (詩 37:1, 7, 8。塔研 22.06 10 ページ 10節)

約束を果たすエホバを信頼していれば、平穏な気持ちでいられる。 (詩 37:10, 11。塔 03 12/1 13 ページ 20節)



考えてみよう 「犯罪や暴力に関するニュースに注意を向け過ぎていないだろうか」。

2. 宝石を探し出す (10分) 田中 慶一

詩 36:6 あなたの正しさは莊厳な山(d*神の山)のよう。あなたの裁きは広大な水の深みのよう。

エホバ、あなたは人と動物を生き続けさせ(*救います)。

詩編作者は、エホバの正しさは「莊厳な山[または「神の山」, 脚注]」のようであると言った。

どのような意味でそう言ったと思われるか。 (洞-2 1037 ページ 1節) 安定性、永続性、高大さ **山** には安定性や永続性があると考えられています。 (イザ 54:10; ハバ 3:6。詩 46:2 と比較。) ですから、エホバの義が「神の山」のようであると述べた詩編作者は (詩 36:6)、エホバの義が不動であることを言おうとしていたのかもしれません。あるいは、山は高大であることから、これは神の義が人間の義をはるかに超越しているという事実に言及しているのかもしれません。 (イザ 55:8, 9 と比較。) 啓示 16 章 20 節は神の怒りの 7 番目の鉢が注ぎ出されたことに関連して、「山々は見えなくなった」と述べています。この言葉は、神の怒りが注ぎ出される際には山と同じほど高大なものでさえそれを逃れることはないと、ということを示唆しています—エレ 4:23-26 と比較

今週の範囲からどんな宝石を見つけたか。

「エホバに頼り、善を行え」 という 2017 年の年句

が取られた 37:3 は、サタンの邪悪な影響が増すに連れて、私たちがエホバに頼りつつ宣教に熱心に与かることの大切さを教えてくれる。少しでも奉仕できることを感謝し、一層エホバに頼りつつ、これからも宣教を楽しんでいきたい。

3. 聖書朗読 (4 分) 詩 37:1-26 (教励 第 10 課) 星 拓哉

野外奉仕に励む

4. 会話を始める 長谷川 真穂 愛込 1-5 小島 奈帆美

(3 分) 家から家で。 (愛込 レッスン 1 ポイント 5)

5. 再び話し合う 有田 優子 愛込 9-4 中田 由美

(4 分) 日常生活で。以前断られた人にもう一度聖書レッスンを勧める。 (愛込 L9 P4)

6. 話 田中 克彦

(5 分) イ解 45 主題: 詩編 37 編 4 節にはどんな意味があるか。 (教励 第 13 課)

クリスチヤンとして生活する

33 番の歌

7. 「苦難の時」のために準備をしていますか (15 分) 討議。 吉田 忍

世界中の兄弟姉妹は、自然災害や紛争などのためにとてもつらい経験をしています。 (詩 9:9, 10)

エホバは虐げられている人の安全な避難所(*高台), 苦難の時の安全な避難所。 10 あなたの名を知っている人はあなたに頼る。 エホバ、あなたはご自分に導きを求める人を決して見捨てない) 「苦難の時」は突然やって来るのので、私たちはみんな準備をしておく必要があります。

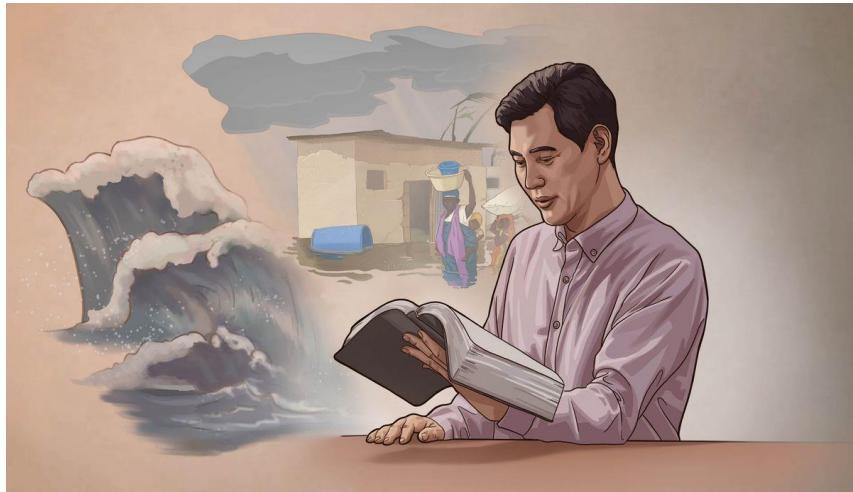
食料や生活必需品を蓄えておく *目 2017 No.5, 4-6 ページ「防災 いざという時に備える」を参照。 ことに加えて、どんな準備ができるでしょうか。

○ 心の準備をしておく。自分も災害に遭う可能性があることを認め、その時どうするかを考えておきましょう。お金や物に執着しないようにします。そうすれば、物よりも命や安全を優先して、ためらわずに賢く行動できるでしょう。 (創 19:16 ロトがぐずぐずしていると、その人たちはロトと妻と娘たちの手をつかみ、町の外に連れ出した。エホバがロトを思いやったのである。詩 36:9 あなたは命の源。あなたの光によって私たちは光を見ます) 災害に遭って物を失ったとしても、現実的な見方をし、過度にがっかりせずに済みます。 (詩 37:19 彼らは災難の時にも恥をかかず、飢饉の時にも事欠かない)

○ エホバとの絆を強めておく。エホバが気遣ってくださり必ず助けてくださる、という確信を強めましょう。 (詩 37:18 エホバは、非難されるところがない人の歩みを知っている。彼らの財産は永遠に失われない) たとえ命以外全てを失ったとしてもエホバが支え導いてくださる、ということを覚えておくことは大切です。 (詩 37:23, 24 エホバは人の歩みを導く(*しっかりしたものとする)。その人の道を喜ぶときに。 24 彼はよろけても、倒れ込むことはない。)

エホバが手をつかんで(*ご自分の手で)支えてくださる。エレ 45:5 しかし、あなたは成功(d*大きなこと)を追い求めて(*期待して)いる。そうしたものを追い求めてはならない』』。エホバはこう宣言しています。『私は全ての人に災いをもたらそうとしている。ただ、あなたがどこに行っても、死ぬことなく逃れられる(*自分の命を戦利品として得る)ようにしよう』)

エホバの約束をはっきり思い描いているなら、エホバを「苦難の時の……要塞」とすることができます。 (詩 37:39 正しい人の救いはエホバから来る。神は苦難の時の彼らの要塞)



「非常事態に備えていますか」の動画を再生する。次の質問をする。

1. 災害時にエホバはどのように助けてくださいますか。

(今、エホバとの絆やエホバへの信頼を強める。) 神は奇跡的に災害を止める訳ではない。でも大変な時に祈るなら、聖書の言葉を思い出し落ち着きを保ち、良い決定を下せるよう聖なる力によって助けてくださる。

2. 具体的にどんな準備ができますか。

(身を守るための準備) 非常用持ち出し袋を用意しておく。その中に、救急用品、水、保存食、聖書、その他の必要な物を入れておく。在宅避難の期間が長引くこともある。そのような場合に備えて、生活に必要な物を備蓄しておく。どんなものを用意しておけば良いか、地元当局が出しているリストを確認する。自分の連絡先が変わったら、長老たちに忘れずに伝える。そうしないとイザという時に直ぐに援助を受けられないかもしれない。家族の崇拝の時に、今後どんな災害が予想されるか考えておく。災害以外にもテロや戦争や暴動などの非常事態が起きることもある。様々なケースに応じてどこで落ち合うか、長老たちとどの様に連絡を取るかを考えておく。

3. 被災した仲間をどのように助けることができますか。

地元で災害が起きた場合、警報や避難指示が出されているなら、野外奉仕グループの監督は全員が安全な場所にいることを確認する。災害が発生したら、野外奉仕グループの監督は、全員の安否とどんな援助が必要かを確認する。救援活動を組織するには時間が掛かるかもしれない。救援物資が限られている場合は特にそう。ですから、一人一人が備えをし、当局の指示に従い、長老たちに状況を伝えておくことはとても重要。 (フリ 2:4) 他の人のことにも気を配る。十分に備えをしておけば、もっと大変な状況にいる仲間を助けることができる。被災していても、自分の会衆や近隣の会衆の仲間を助けられるかもしれない。例えば、一時的に住む場所を必要としている仲間がいるか? 家に泊めてあげることができるかもしれない。食料などの生活必需品を必要としている仲間がいるなら、分けてあげることができる。安全が確保できるなら、家のかたづけや修理を手伝えるかもしれない。非常事態が別の地域で生じた場合は、直ぐに駆けつけたくなるかも

しれない。でも支部事務所は兄弟たちを割り当てて、必要な救援活動を組織する。ですから今の内に災害奉仕の申込書を提出しておくと良い。申込の方法は長老に尋ねる。救援奉仕が必要な場合、支部事務所から依頼があるかも。また祈りには大きな力がある。それで兄弟姉妹のために祈ろう。可能なら救援活動に参加しよう。世界的な活動のために寄付することもできる。そのようにして助けになれる。

災害あれ、戦争あれ、全ての非常事態を避けることはできない。でもエホバの言葉と組織に進んで従うなら、エホバのお名前を高めることになる。

やってみましょう

慰めとなる聖句を見つけておく

聖書を読んで学ぶ時に、自分と他の人にとって慰めとなる聖句を探しましょう。JW Library®アプリの聖句のメモにタグを付けておくなら、後で見つけやすくなります。jw.orgの「聖書は自然災害について何と述べていますか」という記事にも慰めとなる聖句が挙げられています。

8. 会衆の聖書研究 大谷 正 朗読：阿部 直生

(30分) 徹9章8-16節

閉会の言葉（3分） | 57番の歌と祈り 有田 悟

（詩 36:0-37:40）指揮者へ。エホバに仕えるダビデによる。36 悪人は心の奥に違反がある。彼の目に神への畏れはない。2 彼はあまりにうぬぼれていて、自分の過ちを見分けることも憎むこともできない。3 その口から出る言葉は有害で人を欺く。彼には善を行うための洞察力がない。4 寝床に入っても有害なことをたくらみ、善くない道に心を向ける。悪いことを退けない。5 エホバ、あなたの搖るぎない愛は天にまで達します。あなたの真実さは雲にまで。6 あなたの正しさは莊厳な山*のよう。あなたの裁きは広大な水の深みのよう。エホバ、あなたは人と動物を生き続けさせ*ます。7 神よ、あなたの搖るぎない愛は何と貴いのでしょうか。人々はあなたの翼の陰に避難します。8 あなたの家の最良の*物を存分に飲みます。あなたは喜びの川の水を飲ませます。9 あなたは命の源。あなたの光によって私たちは光を見ます。10 あなたを知る人に搖るぎない愛を示し続けてください。あなたが正しい方であることを心の正直な人に示してください。11 傲慢な人が足で私を踏みつけることがありませんように。悪人が手で私を追い払うことがありませんように。12 悪を行う人は倒れました。倒され、起き上がれません。

ダビデによる。37 悪を行う人のせいで腹を立ててはならない。悪人をうらやんではならない。2 彼らは草のようにすぐに枯れ、若草のようにしおれてしまう。3 エホバに頼り、善を行え。地上に住み、忠実に歩め。4 エホバに仕えるのは最高の喜び*。神はあなたの心の願いをかなえてくださる。5 あなたの道をエホバに委ね*、神に頼れ。神があなたのために行動してください。6 神は、あなたの正しさを夜明けの光のように、あなたの公正を真昼の太陽のように、誰の目にも明